



教会学校礼拝・こどもれいはい 再開します

今回は、1月末に近隣の新型コロナウイルス感染状況が急激に拡大したことにより教会役員会の判断として、教会での礼拝休止を決定しました。「まん延防止等重点措置」は愛知県でも延長されていますが、3月13日（日）より、教会学校礼拝・こどもれいはい を再開します。

世界的な新型コロナウイルスの脅威が続く中、ウクライナでは戦争で不安と悲しみにあふれています。それでも季節は巡り、春が来ます。世界に明るい日差しが与えられることを祈ります。

今月の礼拝 単元18: イエスに出会った人々

月日	週 題	聖書箇所	教会学校礼拝 (小5～中学生) 9:00～9:30	分級Ⅰ (小1～小4) 分級Ⅱ (小5～中学生) 9:35～9:55	こどもれいはい (幼児～小4) 10:00～10:20
3月6日	ザアカイ	ルカ福音書 19:1-10	会堂での礼拝休止		

単元19: 十字架に向かう道

3月13日	エルサレム入城	マルコ福音書 11:1-11	武岡路実	分級は 当面の間、 お休みします。 状況により、 プレイ・タイム	安達いづみ
3月20日	宮きよめ	マルコ福音書 11:15-19	林 小夜子		武岡 基
3月27日 進級式	ナルドの香油	マルコ福音書 14:3-9	安達正樹牧師		安達正樹牧師

3月以降の教会学校

教会学校礼拝・こどもれいはい は通常どおりの時間帯で守ります。礼拝出席の際には引き続きマスク着用・手指の消毒など、感染予防にご協力をお願いします。また、換気を徹底し、保育園からお借りしている空気清浄機と除菌機を稼働しています。分級は当面の間お休みし、状況を見て「プレイ・タイム」としますが、礼拝後に残って自由に過ごしてもらっても構いません。

進級式 3月27日（日）教会学校礼拝後／こどもれいはい後 それぞれ礼拝堂にて

保育園・幼稚園を卒園するお友だち、小学校・中学校・高校を卒業するお友だちもいます。また、みなさんひとり一人も4月から1つずつ進級することをお祝いし、新学期からもよき生活を送られるようお祈りのときをもちます。



来月の行事ですが、予定しておいてください。



いつもどおり礼拝を守ります。
 教会学校礼拝（小 高学年～中学生） 9:00～
 「たまご探し」※ 9:30～
 こどもれいはい（幼児～小 低学年） 10:00～
 ※例年、お友だちを誘って参加してもらっていますが、今年も、いつも教会学校に通っているみなさんのための催しとします。



今月の聖句

なに しゆ よろこ ぎん み
何が主に喜ばれるかを吟味しなさい。 (エフェソ5:10)

今月のさんびか

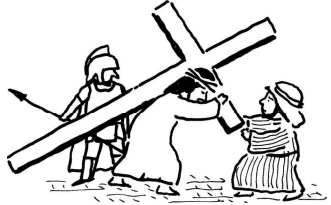
こどもさんびか 85 (イエスのになったじゅうじかは) 讃美歌21…305

今月の教会学校ではイエスさまの十字架への道、十字架での死について学び、4月17日（日）のイースター（復活日）を迎えます。今月のさんびか「イエスのになったじゅうじかは」は、プロテスタントの牧師とカトリックの神父との共同作業によって誕生した賛美歌です。

作詞者のヴィレム・バルナルトさん（1920-2010）は、オランダのロッテルダムに生まれ、オランダ中部でドイツにほど近いニーメーゲン（ネイメーヘン）や、アムステルダムでプロテスタントの牧師を務めました。オランダの賛美歌集の編集を担当し、新しい感覚の創作、詩編の新しい韻律化、翻訳にも務めました。日本語の歌詞は、ドイツの賛美歌集に収録されたドイツ語訳から日本語に訳されました。ドイツ語に訳したユルゲン・ヘンキースさん（1929-2015）はドイツの実践神学の教授で、諸外国の賛美歌をドイツ語に訳しドイツの新讃美歌集の編集に尽力されました。

作曲はイグナス・ドゥ・スッターさん（1911-88）は、フランドル地方（オランダ南部～ベルギー西部～フランス北部にかけての地域）に位置するベルギーのヘントに生まれたカトリックの神父で、レーヴェン（ルーヴェン）の教会音楽学校の講師も務めました。この地方の言語であるフラマン語で行う礼拝を推進し、礼拝で用いるフラマン語賛美歌の作曲に力を尽くしました。

歌詞は1節で「イエスの担った十字架」が「命の木」となり「よい実をむすぶ」と明確に述べ、主の受難の中にある希望を告白します。また2節では、「われらのゆくて みちびいて われらの心に 平和をください」と、今まさにこの世界情勢にあって私たちが切に祈り求めている言葉です。そして「くりかえし」では古くから歌われてきた嘆願の祈り「キリエ・エレイソン（主よあわれみを）」と繰り返し歌い、復活を願います。現代的な受難の歌詞の中に昔から受け継がれてきた言葉が用いられていることを通して、今の私たちが2000年前のできごとと結びついているのだと実感させられます。『こどもさんびか』だけではなく『讃美歌21』にも掲載されているので、子どもから大人まで一緒に歌うことができる賛美歌です。



おたんじょうびおめでとう **3月生まれのお友だち**

